

都市再生整備計画 事後評価シート  
利府町新太子堂地区

令和4年3月

宮城県利府町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	利府町	地区名	利府町新太子堂地区			面積	33.3ha			
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	2,359.4	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(仙台松島線交差点改良事業、町道太子堂3号線整備事業、町道利府中学校前線整備事業)、地域生活基盤施設(駐車場)、高次都市施設(地域交流センター)									
		提案事業	事業活用調査(事後評価分析事業)、まちづくり活動推進事業(文化芸術・生涯学習に係るまちづくり事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	—		—		—					
	新たに追加した事業	基幹事業	—		—		—					
		提案事業	—		—		—					
交付期間の変更	当初	平成28年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	なし							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	文化施設の利用者数	人/年	86,783	H26	147,000	R3	—	147,702	○	あり ● 従前の施設にはなかった多目的ホールを整備したことや、図書館と公民館の機能を拡充したことによって活動の幅が広がり、芸術活動が活性化することで利用者が増加した。加えて、エントランスホールにカフェレストランが併設されたことなども貢献し目標値を上回る見込みである。なお、左記の数値は令和3年7月から令和4年1月までの実績の合計と2月、3月については月平均値を算出し計上したものである。これに、開館していなかった4月から6月までの数値を更に加れば十分に目標を達成できるものである。	令和4年6月
	指標2	文化芸術サークルの団体数	団体	109	H27	143	R3	—	313	○	あり なし — 文化施設の機能が拡充したことにより、利用団体数は目標値を上回った。	—
指標3	「学び・生涯学習環境の整備」の満足度	%	40.2	H26	44.6	R3	38.7	36.3	△	あり なし — アンケートの「わからない」の回答が半数を占めており、目標値に至らなかった。これは回答者の半数が施設を利用したことがないことを示すものであり、理由として開館して間もない時期のアンケートであったことに加え、新型コロナウイルス感染症により一定期間施設が休館したことが要因であると考えられる。施設の認知度が今後の課題である。 一方で満足度は従前値に比べ3.9%減少しているのに対し、不満と答えた人の割合は13.5%減少となっており、評価が「わからない」と答えた半数を鑑みても整備による効果があったことが確認できた。	—	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1				
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4) 定性的な効果発現状況	・駐車場の整備と併せて、仙台松島線交差点改良事業による右折レーン設置や、町道太子堂3号線整備事業及び町道利府中学校前線整備事業による道路整備がされたことで、施設周辺道路の交通円滑化が図られた。 ・地域交流センター整備事業による文化ホール及び公民館が整備されたことで、住民活動の活性化が図られた。											
	5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等				
モニタリング		住民アンケートの実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	● モニタリング同様に、今後継続的に実施される利府町総合計画の策定・評価に係る町民アンケートの調査結果を確認する。			
住民参加プロセス		利府町文化複合施設管理運営基本計画検討委員会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	● 今後の施設運営については、指定管理者と住民の主体的な活動を町が支援し、住民参加型の施設運営を推進していく。			
		管理運営基本計画住民ワークショップの開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	● 管理・運営への住民の関わりについては、今後も継続的に住民の意見を把握しつつ、住民参画を促進する。			
		小学生を含めた町民と施設利用者向け説明会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	● 今後も町民等のニーズ・意見を把握しながら、利用促進に繋がる取組みを検討する。			
持続的なまちづくり体制の構築	株式会社まちづくり利府が管理運営する利府駅前(りふし横丁)や駅前イルミネーション事業等との連携 ※新型コロナウイルスの流行により中止	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	● 基幹事業である地域交流センター建築中に連携事業を検討していたが、新型コロナウイルスの流行により実現できなかった。今後は駅前や当該施設を含めた地域連携により持続的な賑わい創出を図る。				

## 様式2-2 地区の概要

### 利府町新太子堂地区(宮城県利府町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「文化芸術活動」「生涯学習活動」の交流による「ひと・ところ・まち しあわせ共創のステージ」の実現 目標1 新しい利府文化を生み出す文化芸術の拠点づくり 目標2 生涯学習の核となる町民の読書環境の充実	文化施設の利用者数	単位:人/年	86,783	H26	147,000	R3	147,702	R3
	文化芸術サークルの団体数	単位:団体	109	H27	143	R3	313	R3
	「学び・生涯学習環境の整備」の満足度	単位:%	40.2	H26	44.6	R3	36.3	R3



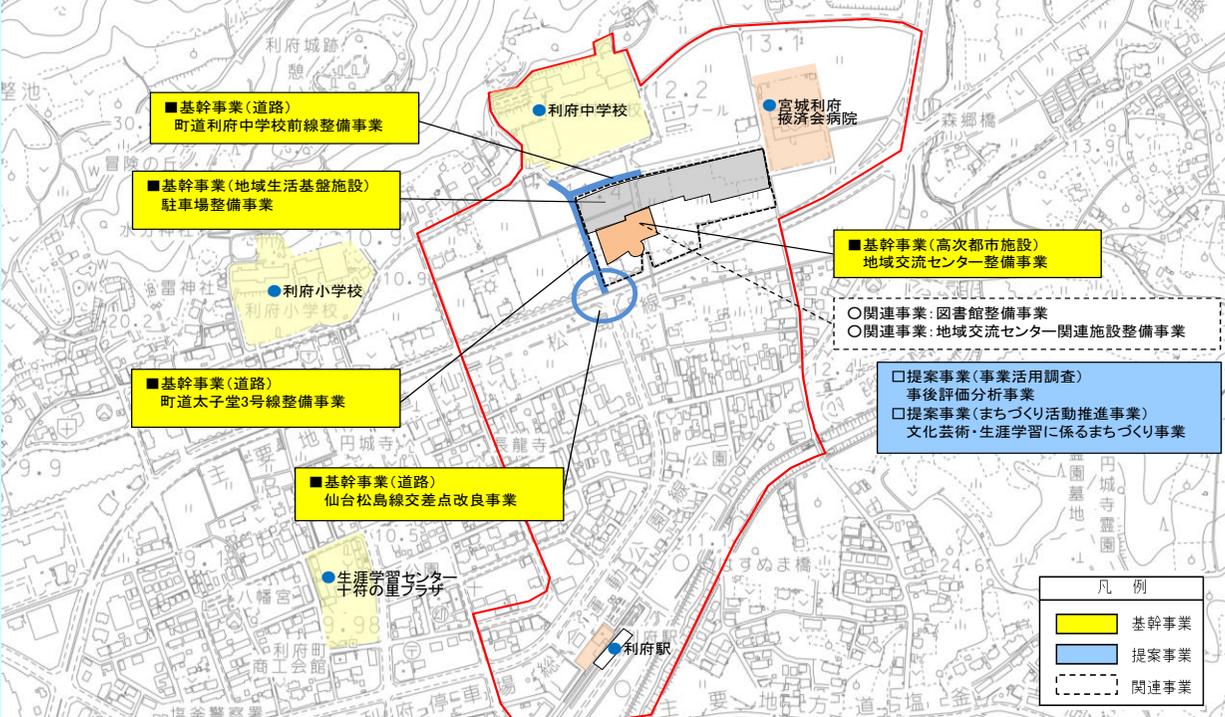
道路(仙台松島線交差点改良事業)



道路(町道太子堂3号線整備事業)



道路(町道利府中学校前線整備事業)



■基幹事業(道路)  
町道利府中学校前線整備事業

■基幹事業(地域生活基盤施設)  
駐車場整備事業

■基幹事業(高次都市施設)  
地域交流センター整備事業

○関連事業:図書館整備事業  
○関連事業:地域交流センター関連施設整備事業

□提案事業(事業活用調査)  
事後評価分析事業  
□提案事業(まちづくり活動推進事業)  
文化芸術・生涯学習に係るまちづくり事業

凡例  
■ 基幹事業  
■ 提案事業  
○ 関連事業



地域生活基盤施設(駐車場)

【文化ホール】



【アトリウム】



【公民館】



高次都市施設(地域交流センター)

まちの課題の変化	<p>①多様な交流による新しい利府文化を生み出す環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年7月1日に利府町文化交流センター「リフノス」が開館し、図書館・公民館・文化会館・レストランの施設機能が拡充したことにより、活動の幅が拡充した</li> <li>町内の文化サークル団体が増え、住民の交流が活性化された</li> <li>利府町文化交流センター「リフノス」において、431席の可動式多目的型ホールにて大規模イベントが開催できるようになった</li> <li>文化芸術の活動や団体の育成、日常的な活動の場や発表の場として機能している</li> <li>利府小学校前の道路については、利府街道への抜け道利用の通過交通がスピードを飛ばしている。道路の線形が悪く、片側歩道であることから、安全性の確保が必要である</li> <li>公共交通の充実により学生や高齢者などのアクセシビリティの向上が必要である</li> <li>住民・利用者の多様なニーズにあった催し物・イベントの企画・実施が必要である</li> </ul> <p>②ところ豊かな人と暮らしを育む生涯学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従前の十符の里プラザに比べて、利府町文化交流センター「リフノス」の図書館では、開館日の増加、開館時間の延長、貸出期間の延長、所蔵図書数の増加などにより、利便性が向上した</li> <li>図書貸出者数は従前値(H26)の31,855人に対し、開館5ヶ月で26,450人となっており、このままの推移でいくと従前値を大きく上回る見込みである。</li> <li>アンケート結果によると所蔵図書に対する関心の高さが明らかになったことから、住民・利用者のニーズにあった所蔵図書の数・質の充実が必要である</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全を確保した施設利用の促進:住民・利用者のニーズに合ったイベント等を開催し、利用促進を図る</li> <li>公共交通の充実により学生や高齢者などの交通弱者のアクセシビリティを向上させる</li> <li>施設周辺道路について、歩行者の安全性の確保や通過交通の排除を図る</li> </ul>

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9—有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	—	●			
B. 目標を定量化する指標	—	●			
C. 目標値	—	●			
D. その他( )	—	●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	仙台松島線交差点改良事業	87.6	交差点改良工事(右折レーン設置)220m	89.8	交差点改良工事(右折レーン設置)243m			●	—
道路	町道太子堂3号線整備事業	90.9	町道の新設(幅員12m、延長165m)	107.2	町道の新設(幅員12m、延長162m)			●	—
道路	町道利府中学校前線整備事業	35.5	町道の新設(幅員9.5m、延長100m)	60.6	町道の新設(幅員9.5m、延長105m)			●	—
公園	—	—	—	—	—	—	—	—	—
河川	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下水道	—	—	—	—	—	—	—	—	—
駐車場有効利用システム	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域生活基盤施設	駐車場	690.9	11,610㎡	503.6	8,815㎡	施工面積、事業費の見直し	駐車場面積が縮小されることにより指標1、2、3の改善へ貢献するものの、指標への影響は少ないと考え、数値目標は据え置く。	●	—
高質空間形成施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高次都市施設	地域交流センター	1,677.7	文化ホール・公民館 2,915㎡	1,969.0	文化ホール・公民館 2,984.65㎡	施工面積、事業費の見直し	公園面積が拡張されることにより指標1、2の改善へ貢献するものの、指標への影響は少ないと考え、数値目標は据え置く。	●	—
既存建造物活用事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市再生交通拠点整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土地区画整理事業(都市再生)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
住宅市街地総合整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バリアフリー環境整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
優良建築物等整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
住宅市街地総合整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
街なみ環境整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
住宅地区改良事業等	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都心共同住宅供給事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公営住宅等整備	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市再生住宅等整備	—	—	—	—	—	—	—	—	—
防災街区整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業活用調査	事後評価分析事業	5.0	1地区	5.0	1地区	なし		●	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
まちづくり 活動推進事業	文化芸術・生涯学習に係るまちづくり 事業	0.5		1.9		事業費の見直し	事業費を精査し金額を見直した。目標、数値指標への影響はない。	●	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
図書館整備事業		地域交流センター	1,113.9	1,620.1	平成28年度～平成32年度	平成28年度～令和2年度	令和2年度に完了	
地域交流センター関連施設整備事業		地域交流センター	245.0	818.7	平成29年度～平成30年度	平成29年度～平成30年度	平成30年度に完了	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	文化施設の利用者数	人/年	令和3年7月～12月までの月別利用実績から、評価基準日における評価値を推計。	—	—	86,783	H26	147,000	R3	モニタリング		モニタリング		●	—	
										事後評価	確定見込み ●	147,702	事後評価			○
指標2	文化芸術サークルの団体数	団体	令和3年度の登録実績データを基に評価基準日における評価値を推計。	—	—	109	H27	143	R3	モニタリング		モニタリング		—	—	
										事後評価	確定見込み ●	313	事後評価			○
指標3	「学び・生涯学習環境の整備」の満足度	%	町民アンケート調査による生涯学習施策の満足度における、満足層(満足している+どちらかといえば満足している)の割合。	—	—	40.2	H26	44.6	R3	モニタリング	R1	38.7	モニタリング	△	—	—
										事後評価	確定見込み ●	36.3	事後評価	△		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	従前の施設には無かった文化ホールを整備したことや、図書館と公民館の機能を拡充したことによって活動の幅が広がり、芸術活動が活性化することで利用者が増加した。加えて、エントランスホールにカフェ・レストランが併設されたことなども貢献し目標値を上回る見込みである。	令和3年8月20日(金)から8月26日(木)までの期間、「まん延防止等重点措置」適用に伴い、公民館の利用時間を午後8時までに変更した。令和3年8月27日(金)から9月12日(日)までの期間、「緊急事態宣言」対象に伴い、全施設を休館にした。
指標2	文化施設の機能が拡充したことにより、利用団体数は目標値を上回った。	
指標3	アンケートの「わからない」の回答が半数を占めており、目標値に至らなかった。これは回答者の半数が施設を利用したことがないことを示すものであり、理由として新型コロナウイルス感染症により一定期間施設が休館したことや、開館して間もない時期のアンケートであったことが要因であると考えられる。施設の認知度向上が今後の課題である。一方で回答に対する不満の割合は従前値より大きく減少しており、整備による一定の効果があることが確認できた。 ※参考(不満度) 従前値21.6% → 評価値8.1%	令和3年7月1日(木)に利府町文化交流センター「リフノス」が開館から約3か月後の令和3年10月に町民アンケート調査を実施しており、今後、効果が発現していくことが期待できる。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度						
その他の数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定			
その他の数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定			
その他の数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・駐車場の整備と併せて、仙台松島線交差点改良事業による右折レーン設置や、町道太子堂3号線整備事業及び町道利府中学校前線整備事業による道路整備がされたことで、施設周辺道路の交通円滑化が図られた。
- ・地域交流センター整備事業による文化ホール及び公民館が整備されたことで、住民活動の活性化が図られた。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
住民アンケートの実施	予定どおり実施した	—	【実施頻度】1回 【実施時期】令和元年8～9月 【実施結果】採用した指標3については、町が利府町総合計画策定にあたって利府町全体の姿に対する町民の意向を計画に反映するために実施する町民アンケート調査結果を用いるものである。交付期間途中で町民アンケートを実施しているため、事業の効果を確認することができた。
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)	—	
—	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した	—	
	予定したが実施できなかった(理由)	—	

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
利府町文化複合施設管理運営基本計画検討委員会の開催	予定どおり実施した	—	【実施頻度】計3回 【実施時期】平成29年9月、12月、平成30年2月 【実施結果】多様な分野の有識者で構成する検討委員会を開催し、施設の管理運営基本計画を検討した。住民・利用者から広く親しまれ、利用しやすい施設のあり方が検討・整理された。
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)	—	
管理運営基本計画住民ワークショップの開催	予定どおり実施した	—	【実施頻度】計5回 【実施時期】平成29年9月～11月 【実施結果】施設の管理・運営について住民の意見を聞いて合意形成を図ったため、施設の周知・PRが図られたとともに、住民に施設に対する愛着が生まれ、積極的な管理・運営への参画意識が醸成された。
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)	—	
小学生を含めた町民と施設利用者向け説明会の開催	予定どおり実施した	—	【実施頻度】計3回 【実施時期】令和2年8月～11月 【実施結果】小学生を含めた町民と施設利用者向けに説明会を実施した。施設の周知・PRが図られ、利用促進に繋がった。また、町民の利用ニーズや要望を把握することができた。
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)	—	

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
株式会社まちづくり利府	予定どおり実施した	—	【株式会社まちづくり利府】 ・中心市街地の活性化に取組む第3セクターのTMOである。 ・「人」、「資源」、「資金」、「情報」を活用し、「町民、企業(事業者)」と「利府駅周辺地区を中心とする市街地」の新しい活力創出と可能性の向上を図ることを目的とする。	・基幹事業である地域交流センター建築中に連携事業を検討していたが、新型コロナウイルスの流行により実現できなかった。今後は感染対策を講じながら駅前や当該施設含めた地域連携により持続的な賑わい創出を図る。
	予定はなかったが実施した	—		
	予定したが実施できなかった(理由:新型コロナウイルスの流行により中止)	●		
—	予定どおり実施した	—	—	—
	予定はなかったが実施した	—		
	予定したが実施できなかった(理由)	—		

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
新太子堂地区都市再生整備計画事後評価検討会	教育部生涯学習課、都市開発部都市整備課	担当課と評価内容の共有と意見交換を実施 令和3年12月1日	教育部生涯学習課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1		指標2							
指標名		文化施設の利用者数		文化芸術サークルの団体数							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見		
基幹事業	道路 仙台松島線交差点改良事業	○	リフノスの施設整備に関する「高次都市施設地域交流センター」「図書館整備事業」「地域交流センター関連施設整備事業」については文化施設の利用者数の増加に直接的な効果があった。 また、「まちづくり活動推進事業 文化芸術・生涯学習に係るまちづくり事業」によるイベント開催も効果的であった。	○	従前の「十符の里プラザ」より機能拡充した「リフノス」を供用したことにより文化芸術サークルの団体数が増加した。 これらは、リフノスの開館に併せて実施されたこけら落としやトークショー、ピアノコンサートにより地域住民への周知・PRが図られたことが貢献している。 また、リフノス来場者の駐車場整備や施設周辺のアクセス道路改良によりアクセス性が向上したことも間接的に貢献しているものと考えられる。						
	道路 町道太子堂3号線整備事業	○		○							
	道路 町道利府中学校前線整備事業	○		○							
	地域生活基盤施設 駐車場	○		○							
	高次都市施設 地域交流センター	◎		◎							
提案事業	事業活用調査 事後評価分析事業	—				—					
	まちづくり活動推進事業 文化芸術・生涯学習に係るまちづくり事業	○				○					
関連事業	図書館整備事業	◎				○					
	地域交流センター関連施設整備事業	◎				◎					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための適切な対策を講じながら、リフノスの利用促進を図る。	利用団体の満足度向上と、新たな利用団体の獲得を図る。		
-------	---	----------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標3											
指標名		「学び・生涯学習環境の整備」の満足度											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路 仙台松島線交差点改良事業	△	リフノスの施設整備やイベント開催などについては、「学び・生涯学習環境の整備」の満足度の向上に効果的であった。リフノスが令和3年7月1日に閉館してから、町民アンケートを実施した令和3年10月までの期間に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用が制限されたことにより効果が十分発現していなかった。	Ⅲ									
	道路 町道太子堂3号線整備事業	△											
	道路 町道利府中学校前線整備事業	△											
	地域生活基盤施設 駐車場	△											
	高次都市施設 地域交流センター	△											
提案事業	事業活用調査 事後評価分析事業	—											
	まちづくり活動推進事業 文化芸術・生涯学習に係るまちづくり事業	△											
関連事業	図書館整備事業	△											
	地域交流センター関連施設整備事業	△											

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	ハードとソフト施策を行いながら、学び・生涯学習環境の維持・向上を図るとともに、利用の定着を促していく。			
------------------	---	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
新太子堂地区都市再生整備計画事後評価検討会	教育部生涯学習課、都市開発部都市整備課	担当課と評価内容の共有と意見交換を実施 令和3年12月1日	教育部生涯学習課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
①多様な交流による新しい利府文化を生み出す環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年7月1日に利府町文化交流センター「リフノス」が開館し、図書館・公民館・文化会館・レストランの施設機能が拡充したことにより、活動の幅が拡充した</li> <li>町内の文化サークル団体が増え、住民の交流が活性化された</li> <li>利府町文化交流センター「リフノス」において、431席の可動式多目的型ホールにて大規模イベントが開催できるようになった</li> <li>文化芸術の活動や団体の育成、日常的な活動の場や発表の場として機能している</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>利府小学校前の道路については、利府街道への抜け道利用の通過交通がスピードを飛ばしている。道路の線形が悪く、片側歩道であることから、安全性の確保が必要である</li> <li>公共交通の充実により学生や高齢者などのアクセス性の向上が必要である</li> <li>住民・利用者の多様なニーズにあった催し物・イベントの企画・実施が必要である</li> </ul>
②こころ豊かな人と暮らしを育む生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>従前の十符の里プラザに比べて、利府町文化交流センター「リフノス」の図書館では、開館日の増加、開館時間の延長、貸出期間の延長、所蔵図書の増加などにより、利便性が向上した</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果によると所蔵図書に対する関心の高さが明らかになったことから、住民・利用者のニーズにあった所蔵図書の量・質の充実が必要である</li> </ul>
—	—	—	—
—	—	—	—

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	安心・安全を確保した施設利用の促進	・住民・利用者のニーズに合ったイベント等を開催し、利用促進を図る	・利用促進策の企画・実施

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	施設へのアクセス環境の充実	・公共交通の充実により学生や高齢者などの交通弱者のアクセス性を向上させる ・施設周辺道路について、歩行者の安全性の確保や通過交通の排除を図る	・公共交通の見直し・改善検討 ・区画整理事業

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	文化施設の利用者数	人/年	86,783	H26	147,000	R3	確定 見込み	— ●	147,702	○	あり なし	● —	令和4年6月	令和3年7月～令和4年3月の利用実績から令和3年度の利用者数を確定値として求める。	
指標2	文化芸術サークルの団体数	団体	109	H27	143	R3	確定 見込み	● —	313.0	○	あり なし	— —	—	—	—
指標3	「学び・生涯学習環境の整備」の満足度	%	40.2	H26	44.6	R3	確定 見込み	● —	36.3	△	あり なし	— —	—	—	—
指標4	—	—	—	—	—	—	確定 見込み	— —	—	—	あり なし	— —	—	—	—
指標5	—	—	—	—	—	—	確定 見込み	— —	—	—	あり なし	— —	—	—	—
その他の数値指標1							確定 見込み						—	—	—
その他の数値指標2							確定 見込み						—	—	—
その他の数値指標3							確定 見込み						—	—	—

### 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・計画に位置付けられた事業を着実に実行することにより、数値目標が達成され、事業効果が発現された。	・モニタリングを実施することにより、交付期間の途中までに事業の効果を確認できる。
	うまくいかなかった点	・モニタリングを実施しなかったため、的確な目標値を捉えられなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・特になし。	・特になし。
	うまくいかなかった点	・特になし。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・住民参加を主とした事業を行ったため、事業への理解の醸成を図ることができた。	・今後の事業において、住民参加は不可欠であり、参加の仕組みづくりを一層検討する。
	うまくいかなかった点	・特になし。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・指標1及び指標2については、既存の資料・データを活用した数値の計測が可能であり、評価がし易かった。	・毎年データが算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため、指標を設定するには計測のことも考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点	・特になし。	
その他	うまくいった点	・特になし。	特になし。
	うまくいかなかった点	・特になし。	

### 添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

<p>【今後の活用予定】</p> <p>・なし</p> <p>【今後、事後評価を予定する地区】</p> <p>・なし</p>
--

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町ホームページでの掲載	令和3年12月9日 ～令和3年12月23日	令和3年12月9日 ～令和3年12月23日	生涯学習課を窓口とし、 持参、郵送、FAX、 Eメールで意見を受付	生涯学習課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	生涯学習課窓口での閲覧	令和3年12月9日 ～令和3年12月23日	令和3年12月9日 ～令和3年12月23日		

住民の意見	事後評価原案に対する意見はありませんでした。
-------	------------------------

## (6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	なし	令和4年1月12日	生涯学習課	利府町新太子堂地区都市再生整備計画事業事後評価懇話会設置要綱	独自に設置
その他の委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利府町都市計画審議会会長</li> <li>・利府町社会教育委員 議長</li> <li>・利府町芸術文化協会会長</li> </ul>				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし。
	成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の目標値をどのように設定したのかという質問があった。これに対して、事務局から経緯を説明し理解された。</li> <li>・指標1「文化施設の利用者数」について、国への提出時まで可能な範囲で実績値を反映すべきとの意見が出た。</li> </ul>
	実施過程の評価	・実施過程の評価について妥当であることが確認された。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理について妥当であることが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・ホームページのアクセス数に対する質問があった。事務局から、パブコメ時のHPアクセス数を253件と回答し、事後評価原案が適正に公表されたことが確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは、妥当に進められたことが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・リフノスへのアクセス性について、施設の周辺道路の安全性の確保や町民バスの充実などに関する意見があった。
	フォローアップ	・フォローアップ計画について妥当であることが確認された。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策について妥当であることが確認された。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画評価委員会チェックシート」を参考にしてください。